

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	07	01	02	0412	商店街賑わい再生戦略事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-3	商業の振興			
	施策	1	商業形態の多様化			
目的	商業形態の多様化に向けた自立的な取組みへの支援					
対象	商店街団体					
意図	現在の商店街の現状に危機感を感じている事業者及び商業団体					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<input type="checkbox"/> 事業掘り起し 専門家による商店街関係者を対象としたセミナー・ワークショップの開催 <input type="checkbox"/> 商店街賑わい再生戦略事業補助 商店街等が実施する、事業性、継続性のある事業を継続的に支援						
市民参画の有無 [ 対象外 ]						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	商業形態の多様化に向けた自立的な取組み件数	件	計画		4	
			実績		1	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	市街地における一日あたりの歩行者数【商工会議所】	人	目標	9,000	9,000	
			実績	6,952	5,286	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
調査日は「曇りのち雨」という天候であったものの、商店街における店舗の減少などにより、市街地における歩行者数は減少傾向にある。		
<平成27年度調査日> 調査は、花巻商工会議所により実施。 平成27年6月28日(日)、29日(月)の2日間 花巻市内14地点、大迫町1地点、石鳥谷町1地点、東和町2地点で実施。 調査時間は午前7時30分から午後7時30分までの12時間		
目的妥当性	公共関与の妥当性	中心市街地における商店街の賑わいを再生させるには、商店街団体の力だけでは難しく、公共関与に妥当性があると言える。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	買い物客数が減少する中、いかに来場者を増やすかが求められている。イベント事業により商店街を知ってもらう取組みが行われているが、継続的な来街者を商店街に呼び込む新たな取組みを行うことにより、向上余地がある。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	当該事業は、商店街団体が自ら自立的な取組みを行うことを想定しており、事業開始から3年間の補助率を徐々に下げている。現行以上に削減する余地はない。
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある	
	<input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	中心市街地を対象とした以外には、受益機会は公平であり、商業団体等の自己負担も一定程度必要であり、適正である。
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある	
	<input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
商店街等が自ら考え、作成した事業計画を、より事業性、継続性のある事業計画とするために、金融機関や会議所などの意見をもとにブラッシュアップを行い、事業実施できたことは今後につながる成果となった。 今後も、会議所等が支援を行いながら、新たな事業の検討を進めていく。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 商工観光部 課名 商工労政課 担当課長 古川 昌 内線 285

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	07	01	02	0412	商店街賑わい再生戦略事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			985		985
財 源 内 訳	国・県		492		492
	地方債				
	その他				
	一般財源		493		493

事業期間	単年度繰返	<input checked="" type="radio"/> 期間限定	[平成 27 年度 ~ 平成 29 年度]
------	-------	---------------------------------------	-----------------------

部重点施策における目標

商業機能を充実し、人とモノの流れを活発にします。

事業開始の背景・経緯

高齢化や担い手不足が進む中、中心市街地の商店街は、郊外に大型店が進出するなど、来街者が減少するとともに、年々商店街の会員も減少している状況にある中、買い物弱者など、地域住民が安心して買い物ができる場所の確保が急務となっている。

事業概要

- 事業掘り起し  
専門家による商店街関係者を対象としたセミナー・ワークショップの開催
- 商店街賑わい再生戦略事業補助  
商店街等が実施する、事業性、継続性のある事業を継続的に支援

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

商店街における高齢化・担い手不足は深刻な状況にあり、商店街団体の会員の減もあり、新規事業を起こす意欲を持った事業主が少なくなっている。

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

■商店街賑わい再生戦略事業 985,020円

□セミナー・ワークショップの開催 事業費 485,020円

専門家による商店街関係者を対象としたセミナー・ワークショップの開催

第1部 「花巻市商店街賑わい再生戦略セミナー」  
平成27年11月9日 参加者 6組織 9人

第2部 「花巻市商店街賑わい再生戦略ワークショップ」  
平成28年3月25日、26日 参加者 3組織 8人

講師 株式会社エイチ・エーエル  
中小企業診断士 小島 慎一

□商店街賑わい再生戦略事業費補助金 事業費 500,000円

商店街等が実施する、事業性、継続性のある事業を継続的に支援

【H27実績】

補助事業者 石鳥谷中央通り商店街振興会 会長 柳原利浩  
補助対象事業期間 平成27年10月1日～平成28年3月31日  
補助金交付金額 500,000円（事業費810,350円≧750,000円※事業期間6か月）

【制度概要】

- ・事業性のある事業を支援。事業性について「地域イノベーション戦略事業」内で検証。
- ・事業計画に「収益性」、「継続性」が十分期待される事業を想定。  
※原価率、収益目標、販売促進方法等、具体的検証  
※金融機関の貸付に耐えうるレベルの内容が検証
- ・事業主体は、商業団体等。
- ・補助限度額 \*1年目 1,000千円(1,500千円×2/3補助)  
\*2年目 750千円(1,500千円×1/2補助)  
\*3年目 500千円(1,500千円×1/3補助)